

No.2022-37

発行:2022年5月11日

## 『SUPER GT 第2戦富士』GT300クラスでDUNLOPタイヤ装着車両が表彰台独占

住友ゴム工業(株)(社長:山本悟)は、5月3日から4日に富士スピードウェイで開催された国内最高峰のレースのひとつ『2022 AUTOBACS SUPER GT』の第2戦で、DUNLOP(ダンロップ)としてサポートするチームが、GT300クラスで「SUPER GT」参戦以来初の1位から3位の表彰台独占を果たしました。開幕戦に引き続き好調な走りを見せ、DUNLOPタイヤ装着車両同士による激しいトップ争いを展開しました。



表彰式の様子

第2戦の予選では、フロントローのみならず、セカンドローの予選4位までをDUNLOPタイヤ装着車両が独占。

決勝レースでは、「GAINER」の「NISSAN GT-R NISMO GT3(10号車)」が1周目から先頭に躍り出て快調なペースで後続との差を広げていき、2回の赤旗中断となる波乱の展開の中でトップをキープし、今シーズン初優勝を遂げました。ドライバーの富田竜一郎選手は、第1戦からさらに進化したDUNLOPタイヤで走行し「ウォームアップから楽に走ってもタイムが出た。ミニмум18周を予想していたが、28周までしっかりタイムが出せた。次戦でもGT3勢・ダンロップ勢の中でもトップでチェッカーを受けられるように頑張りたい」とコメントしました。

優勝した富田竜一郎選手(左)、  
大草りき選手(中央)、塩津佑介選手(右)

「GAINER」の「NISSAN GT-R NISMO GT3」

2位は今年から参戦を開始したルーキーチーム「BUSOU Drago CORSE」の「NISSAN GT-R NISMO GT3(34号車)」、3位は「R&D SPORT」の「SUBARU BRZ GT300(61号車)」となりました。また、4位・6位にも入賞を果たし、トップ6台のうち5台がDUNLOP装着車両となる好成績を収めました。

予選・決勝レースともに上位を独占できたのは、DUNLOPタイヤの高いグリップ性能と耐久性能の証で



す。続くレースにおいてもチャンピオン獲得を目指し、参戦するチームとドライバーを足元から支えます。

■GT300 クラス DUNLOP タイヤ装着車両順位

順位	チーム	車両	ドライバー
1 位	GAINER	NISSAN GT-R NISMO GT3(10 号車)	富田 竜一郎
			大草 りき
			塩津 祐介
2 位	BUSOU Drago CORSE	NISSAN GT-R NISMO GT3 (34 号車)	柳田 真孝
			井出 有治
3 位	R&D SPORT	SUBARU BRZ GT300 (61 号車)	井口 卓人
			山内 英輝
4 位	GAINER	NISSAN GT-R NISMO GT3(11 号車)	安田 裕信
			石川 京侍
6 位	K-tunes Racing	LEXUS RC F GT3(96 号車)	新田 守男
			高木 真一
17 位	LM corsa	TOYOTA GR Supra GT(60 号車)	吉本 大樹
			河野 駿佑
20 位	SHADE RACING	TOYOTA GR 86 GT(20 号車)	平中 克幸
			清水 英志郎

以上

<商品・イベントに関するお問い合わせ先>

タイヤお客様相談室 TEL:0120-39-2788